



しあわせ  
信州

**長野県議会**

# 改革・新風

会派だより

**第11号** (2014年) 平成26年1月

発行・編集/改革・新風  
長野県庁県議会棟内 (026) 232-0087  
発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK  
http://www.kaikaku-shinpuu.com

**長野県議会 改革・新風 県政対話集会** 入場無料

日時: 2014年1月28日(火) 16時00分~

会場: 豊科公民館ホール 安曇野での開催が決定!!

皆様 お気軽にご来場ください

県政へのご意見・ご要望など、どなた様でもご発言可能です。特定の議員や政党を応援する集会ではありません。

今年も会派一同がんばります！



**石和 大** (副政策審議会議長)

**中川 博司** (副広報企画委員長)

**壺 裕一** (政務調査会長)

**小島 康晴** (幹事長)

**山岸 喜昭** (広報企画委員長)

**野澤 徹司** (副代表)

**倉田 竜彦** (代表)

**竹内 久幸** (副代表)

**下沢 順一郎** (幹事長代理、政策審議会議長)

**荒井 武志** (副政務調査会長)

**吉川 彰一** (財務委員長)

**堀場 秀孝** (副政務調査会長)

**続木 幹夫** (副広報企画委員長)

**依田 明善** (副政策審議会議長)

( ) 内は会派役員

新しい長野県を目指し、県民生活向上のため、邁進していく決意を新たにしています。

我が国を取り巻く情勢は、固有の領土、主権に対する挑戦や防空圏など危機的状況に置かれ、国内においては、原発、TPPや消費税率引き上げ、特定秘密保護法案の今後の扱いなど重要な課題を抱え、今後の政府の舵とりが注目されているところであります。

さて、大変厳しい社会情勢の中、「確かな暮らしが営まれる美しい信

代表年頭ご挨拶

長野県議会「改革・新風」  
代表 倉田 竜彦



新たな年を迎え、未来へ向けた新しい長野県を目指し、県民生活向上のため、邁進していく決意を新たにしています。

我が国を取り巻く情勢は、固有の領土、主権に対する挑戦や防空圏など危機的状況に置かれ、国内においては、原発、TPPや消費税率引き上げ、特定秘密保護法案の今後の扱いなど重要な課題を抱え、今後の政府の舵とりが注目されているところであります。

さて、大変厳しい社会情勢の中、「確かな暮らしが営まれる美しい信

**◆「信州」の価値向上と発信**

○新たな首都圏総合活動拠点の整備

「しあわせ信州シェアス

11月定例会の報告

補正予算49億6千万円余を可決

県内全域で大雨となった9月の台風18号により被災した道路、河川、農地等の復旧事業を迅速に実施するための37億3千万円。コアな信州ファンづくりを進め、交流を通じて移住、経済交流などを促進するための施設「しあわせ信州シェアス ペース(仮称)」を平成26年夏に銀座(東京)に整備するための1億4千万円等の予算案が慎重審査のうえ可決されました。

**【補正予算の特色】**

- ◆台風18号による災害への対応
  - 災害復旧事業
 

異常出水による破損や崩落など、被災した道路、河川、農地等の迅速な復旧を図るための事業費(37億3千万円余)
  - 県単独公共事業
 

集中的な豪雨による倒木、落石等の除去や路肩の修繕等を実施(10億3千万円余)
  - 水産試験場(木曾試験地)の施設整備
 

本県の重要な養殖魚である信州サーモン及びイワナの親魚養成・産卵に必要な取水施設が被災したため、代替施設を整備(4千万円)

特定秘密保護法案に対する意見書提出

当会派は国の特定秘密保護法案について、国民の権利を侵害することがないよう、政府に対して慎重な対応を求める内容の意見書を提出し、本会議において記名投票により採決が行われました。しかし、反対多数によって否決されました。



県政対話集会在南佐久

ニホンジカなどの被害や農業の現状等を調査すべく、10月22、23日と南佐久郡内の視察を行いました。南牧村野辺山高原の林道沿いには、食害にあつたサラサドウダンツツジなどの無残な姿がありました。貴重な樹木や高山植物などが食い荒らされ、大変な危機に瀕していることを改めて確認しました。

会派県外視察

九州編

会派の県外視察で11月5日から7日まで熊本、大分、宮崎をそれぞれ視察しました。

熊本県庁では、2011年のゆるキャラグランプリで1位となった「くまモン」の取組と「子ども輝き条例」について調査。熊本県は毎年1億円かけて様々な「くまモン」のパフォーマンスを仕掛け、「くまモン」の商標を使った製品の売り上げが250億円になるとのことです。信州のアルクマの活用が求められています。

大分県では、世界農業遺産と温泉を活用したエネルギー政策について調査。

世界農業遺産には、日本で、能登や佐渡など6地域が認定され、

大分県ではクヌギ林のため池がたぐ国東半島・宇佐の農林水産循環の森の恵み。しいたけの故郷が認定されました。長野県内でも認定の可能性のある地域があるのではないかと思われま

宮崎県では、100万泊県民運動、中山間地、地産地消などの県民運動としての取組、甲子園優勝プロジェクトについて調査しました。

また、夕方からは14名の当会派全議員が南佐久郡の八千穂福祉センターに集まり、「県政対話集会」を開催しました。230人もの皆さんが出席され、様々な質問、意見、要望などが出されました。TPP、原発、消費税、特定秘密保護法案、議会改革、農業問題、道路や河川整備における地域要望など、内容は多岐にわたりました。時には質問者にも熱が入り緊迫した場面もありましたが、大変有意義な質疑応答がなされました。今後の南佐久郡の更なる発展に繋げていければと思います。

